



金融街シティを支える City of London Corporation の金融プロモーション

8 February 2024

自己紹介

2014 東京都に入る

2016.5 外務省 伊勢志摩サミット・TICAD6

2016.10 在フランス日本国大使館広報文化部

2018.12 東京都政策企画局外務部

2021.4 東京都政策企画局戦略広報部報道課

2023.4 東京都スタートアップ・国際金融都市
戦略室

2023.6 City of London Corporation
Innovation Growth Trade & Investment
Advisor



金融街シティ

ロンドンの中心部に位置する「シティ・オブ・ロンドン」のこと
「スクエアマイル」とも呼ばれる

中央銀行・証券取引所・保険取引所をはじめ、
銀行や証券会社など金融機関が集中するエリア

GLA/ City of London

GLA（Greater London Authority：グレーター・ロンドン）の中の行政区のひとつ

シティ・オブ・ロンドンを管轄している自治体が「**シティ・オブ・ロンドン・コーポレーション**」（CoLC: The City of London Corporation）

市長・警察・税収もロンドン市（GLA）の他の区とは別

**EAST OF
ENGLAND**



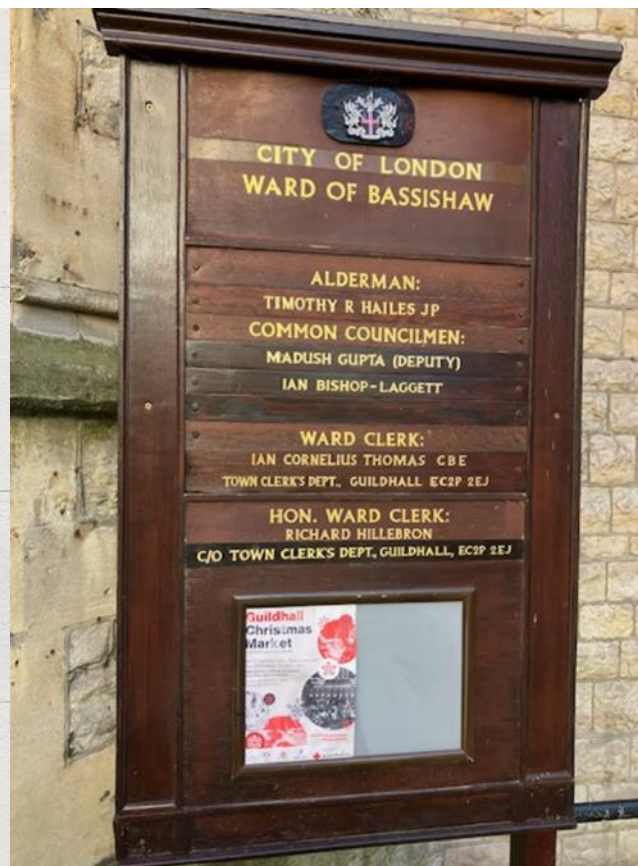
**SOUTH EAST
ENGLAND**

WELCOME TO THE CITY OF LONDON



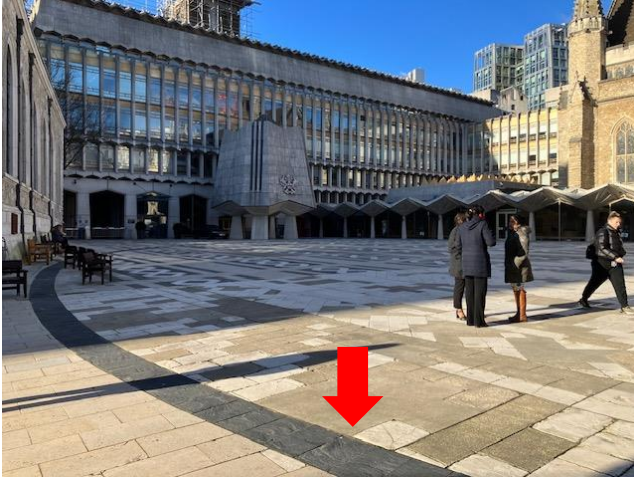
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----





羽が生えたドラゴン 少しトカゲっぽい

シティオブロンドンの歴史



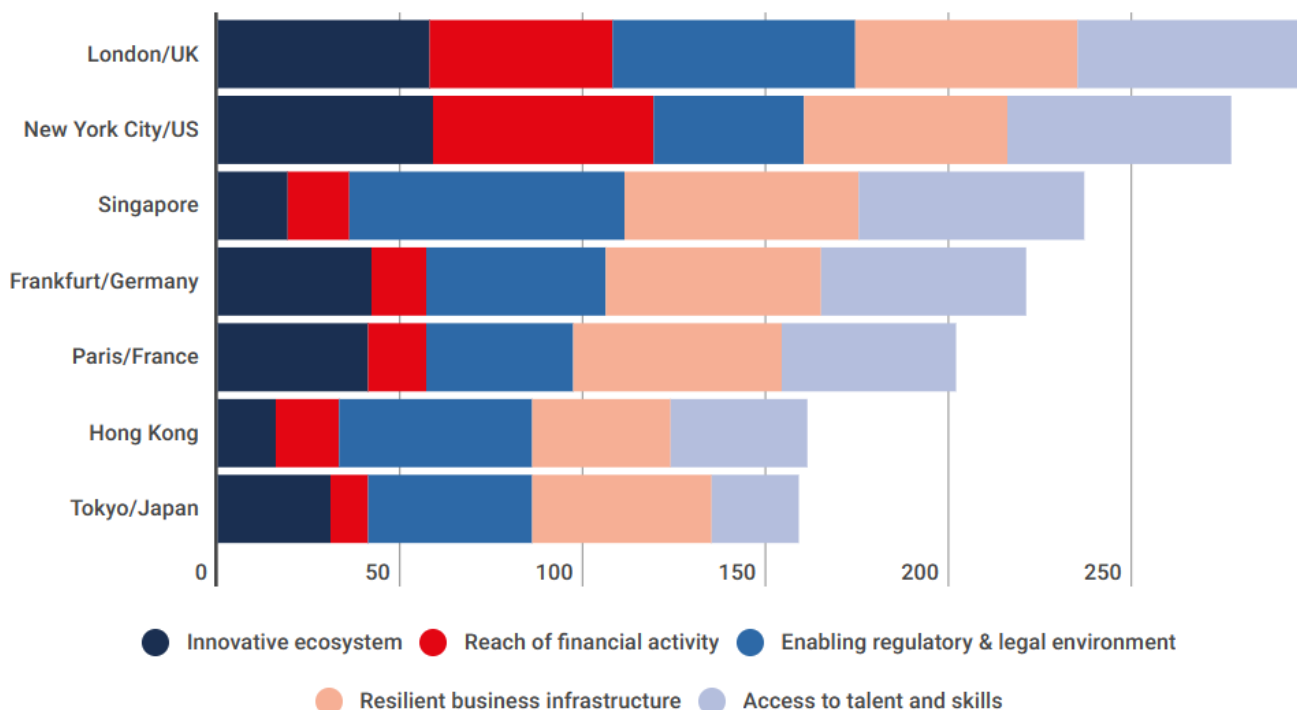
- 50年 ローマ帝国によるロンディニウム建設
- 200年 ロンドンの壁建設
- 604年 最初のセントポール大聖堂建設
City of London Corporation設立？
- 1066年 ノルマンコンクエスト
- 1155年 ウィーバーズカンパニーが最初の
チャータークラフト・ギルドに
- 1666年 ロンドン大火 モニュメント
- 1710年 セントポール大聖堂完成

シティのど真ん中に古代ローマ遺跡があるなんて！
@ギルドホールアートギャラリー

Global Financial Centres ランキングNo. 1

2024年1月24日リリースされたGFIランキングでロンドン世界第1位

London and the UK perform consistently well across all competitiveness measures



<https://infogram.com/overall-benchmarking-2024-1hnp27mw8zyvn2g> より

金融街シティのデータを見てみると...

Jobs in the City of London are highly concentrated in

- 昼間人口は多いが、住民は少ない

昼間人口は615,000人・夜間人口は7,500人

⇒独自のビジネスレート設定（2022～2023は1.2p in the £）

- 労働者がインターナショナル

42%が英国外出身（EEA（欧州経済領域）から14%、それ以外27%）

アフリカ系・アジア系・少数民族は37%

男性64%、女性36%

- 22～39歳の割合が高い

61%（イングランド・ウェールズは40%）

- 金融サービス・専門サービスセクターの割合が非常に高い



Financial Services

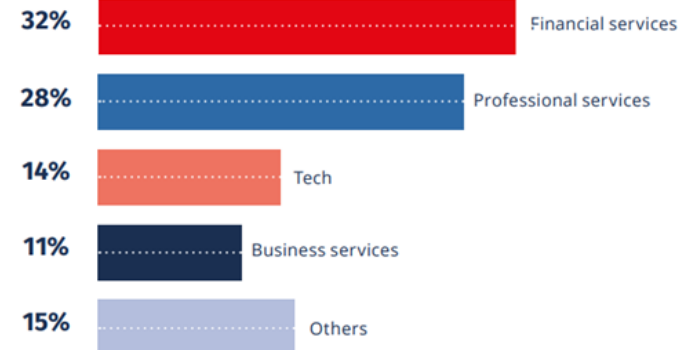
Banking 59,000
Fund management 26,000
Insurance 18,000*



Professional Services

Legal 58,000
Management consultancy 37,000
Accountancy 27,000

The City is made up of jobs in:



2023.11.2 CoLC 「City statistics briefing」より



シティ・オブ・ロンドン・コーポレーション (City of London Corporation)

- ・所在地ギルドホール
- ・「スクエアマイル」を管轄する自治体
- ・多様で持続可能なロンドンを支援し、
活気に満ち繁栄するシティを実現するために活動

Corporate Plan 2018–2023

Contribute to a flourishing society
Support a thriving economy
Shape outstanding environments

5年サイクル
2024-2029計画は
今年4月に公開予定

シティコーポレーションのガバナンス

市民議会

The Court of Common Council

主要な意思決定機関。Common Councillors 100名(シティ25区からそれぞれ2-10名選出・任期4年)+Alderman 25名(区ごと1名・70歳まで)で構成。年に9回開会・130近くある委員会(Committee)も運営。Policy and Resources CommitteeがCoLCの戦略・政策の全体を担う。トップがPolicy Chair。

参事会

The Court of Alderman

ロードメイヤーやシェリフなど将来の高官職を決める意思決定機関。

リヴァリ

The Livery

シェリフを選出しロードメイヤー選出などで重要な役割を果たす。111のリヴァリカンパニーが存在。ギルドが申請後法的に地位を認められたもの。

シティコーポレーションのガバナンス

The Court of Common Council (市民議会)

主要な意思決定機関。

Common Councillors 100名 + **Alderman** 25名で構成。130近くある委員会を運営。

The Court of **Alderman** (参事会)

ロードメイヤーや**シェリフ**など将来の高官職を決める意思決定機関。

The Livery (同業者組合)

シェリフを選出しロードメイヤー選出などで重要な役割を果たす。110の同業者組合が存在。

ロードメイヤーって誰？

シティオブロンドンの市長。ここ大事！

オルダーマンって何？

のちにシェリフやロードメイヤーを務める可能性のある上級議員のこと。イベントではロードメイヤーの代理をすることも多い。

シェリフの役割って？

毎年2名選出。任期は9月から9月まで。

ロードメイヤーの出張に同行したり、ロードメイヤーの業務をサポート。たいていは①オルダーマンのシェリフと、②オルダーマンではないシェリフが1名ずつ選出。①が将来ロードメイヤーへ。

ロードメイヤーってなんぞ？



- 英国の**金融・専門サービスセクターの国際大使**
- City of London Corporationの長
- 政財界の要人対応・年間100日以上の国内外出張
- 任期は1年・俸給はなんとゼロ
- 公邸「マンションハウス」



マンションハウスでつかい

ロードメイヤーってなんぞ？ (おまけ) マンションハウス・コンパクト

英国の確定拠出年金（DC）制度は非上場株式への投資比率が1%未満
→DCを統合した成長ファンドを設立すべし！

2023年7月、ロードメイヤーとハント英財務相は、英国の確定拠出年金
9社と署名

- ・ 英国の年金や確定拠出型年金のデフォルトファンドを含むその他の関連資産のうち、非上場株式に投資する割合を増やす
 - ・ 2030年までに確定拠出型年金のデフォルトファンドの少なくとも5%を非上場株式に配分することを約束
- 2030年までに高成長企業への投資は500億£以上に達する



ロードメイヤーってなんぞ？ (おまけ) 選出の流れ

1189年 第一代ロードメイヤー任命

ロードメイヤー選出の選挙

Michaelmas Day (9月29日)

or そこに一番近い平日にCommon hall で実施

11月第2土曜日の直前の金曜日

「サイレントセレモニー」

1959年The City of London(Various Powers)Actによると
この日に新ロードメイヤーはロードメイヤーとなること
を許可される

11月第2土曜日 **「ロードメイヤーズ・ショー」**

シティの企業、慈善団体、軍隊、市警察などもシティ内
を練り歩く、ロードメイヤーのお披露目絢爛豪華な行列



ロードメイヤーの乗る黄金馬車は1757年製。
王室のゴールド・コーチ、スピーカーズ・ステート・
コーチと並び英国3大馬車

今のロードメイヤーは第695代目



マイケル・マイネリ博士

Alderman Professor Michael Mainelli, MStJ
FCCA FCCSI(Hon) FBCS FRSA CITP FIC CMC
MEIs

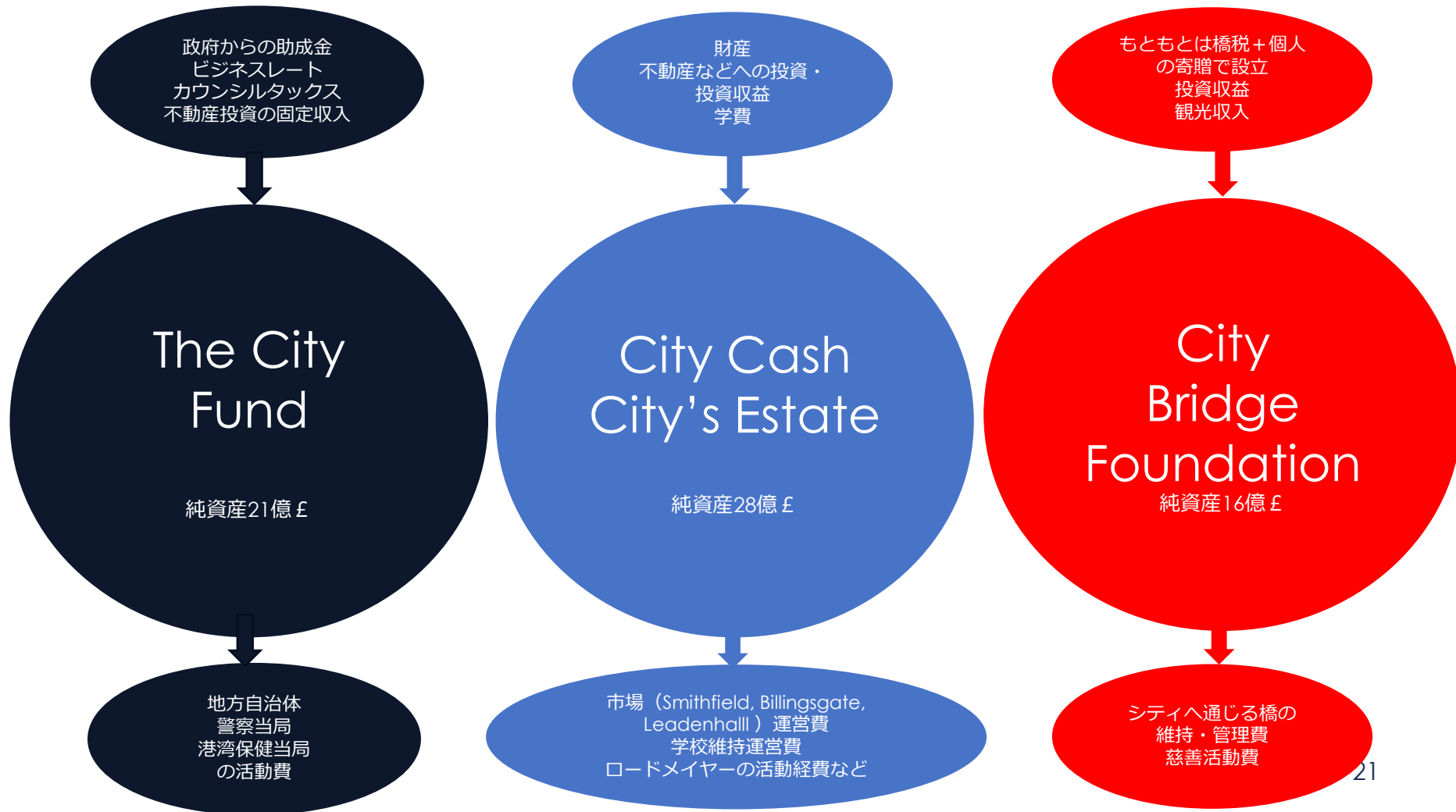
米シアトル生まれ

妻の名前はエリザベス

任期のテーマ「**Connect to Prosper**」

スクエアマイルの膨大な知を活用し (Knowledge Miles)、グローバルな課題へ立ち向かうことのできる
‘世界のコーヒーハウス’としてのシティの強みを示す

シティ・コーポレーションの財源





シティ・コーポレーションと東京都のMoU

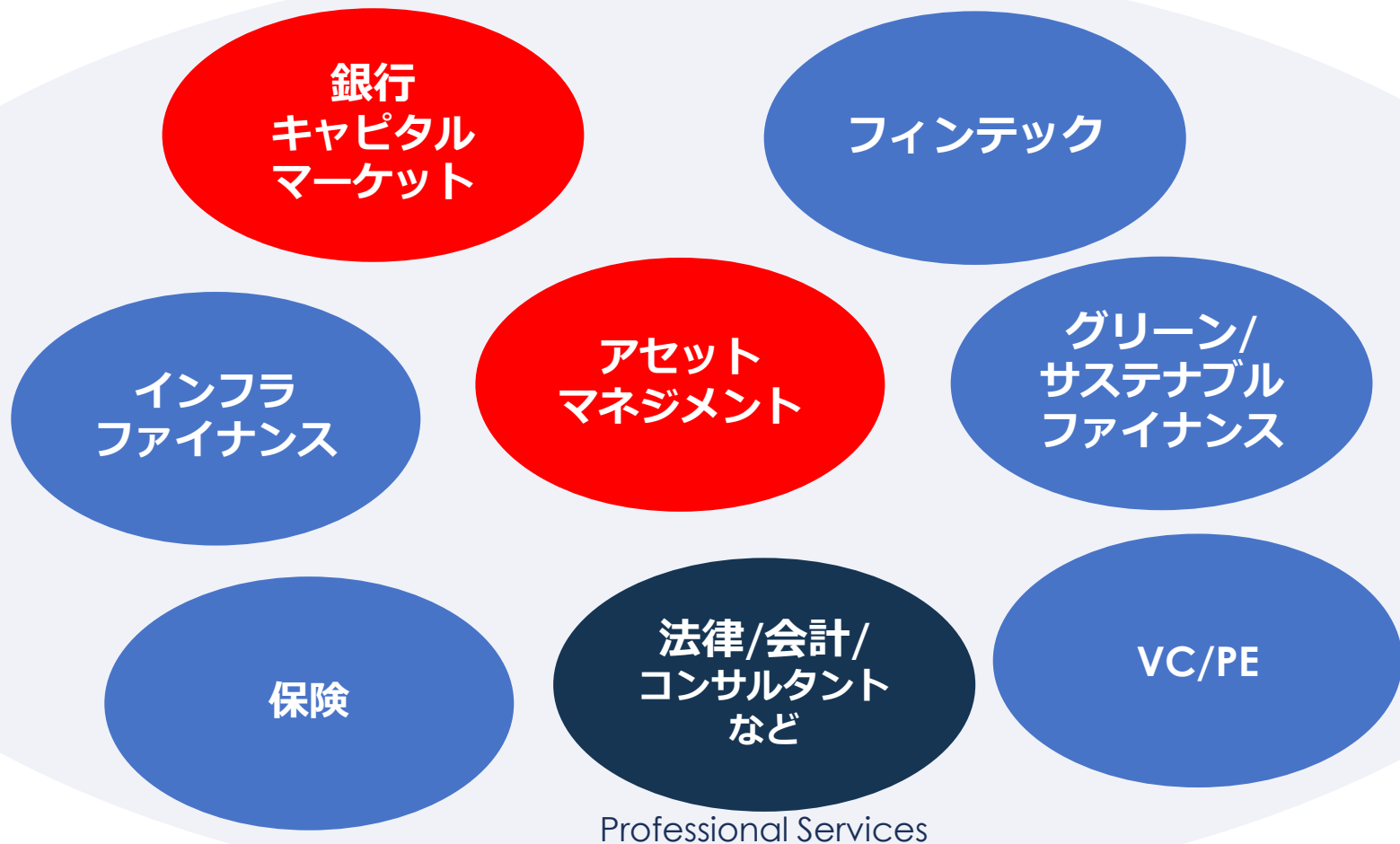
2017年12月 「国際金融都市・東京」構想の取組の一環として、
「東京都とシティ・オブ・ロンドン・コーポレー
ションの交流・協力に関わる合意書」締結

以降、毎年金融関係セミナー共催、実務レベルでの四半期に1度の
ミーティングなど、**緊密な関係・日英市場の理解促進**へ

英国全体 に対する The City の貢献

英国にとって重要な「金融サービス・専門
サービス」って何のこと？

英国の金融サービス・関連する専門サービス (Financial and Professional Services)



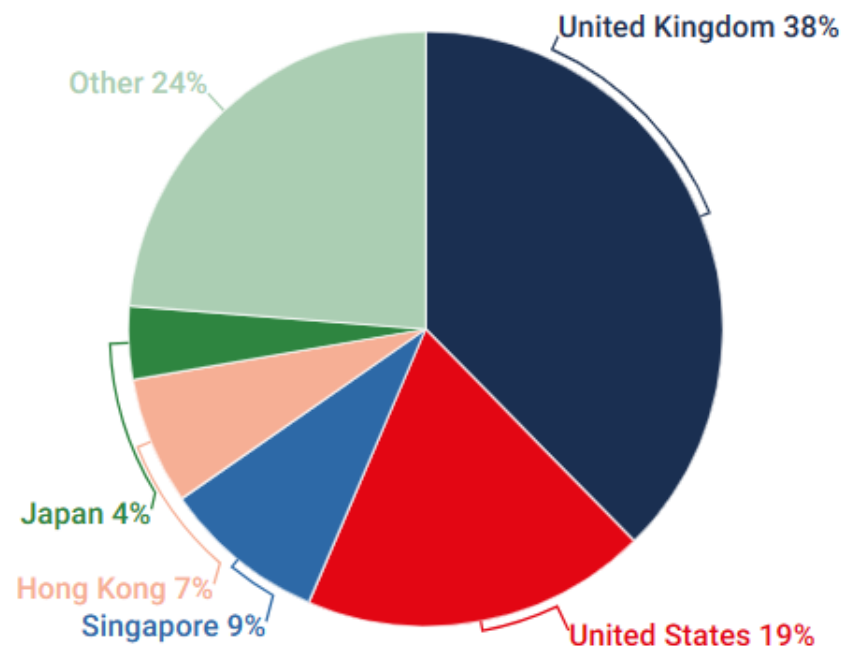
200以上
英国における
外資系銀行進出数

351,000人
英国で銀行業務に
従事する人数

1兆1,100億ドル
2022年外国債券発行

たとえば、銀行を見ると

英国は世界全体の外国為替
取引の3分の1以上を占める



<https://www.theglobalcity.uk/banking-and-capital-markets>

たとえば、アセットマネジメントを見ると

世界第2位

投資管理センター
としての地位は米国の次

およそ1,100

英国の資産運用会社数は
ヨーロッパ最大

11.6兆 £

英国での運用資産額は
世界全体の運用資産の
14%を占める

46%

英国の運用資産額のうち
海外の顧客に代わって
管理している割合

33,400人

ロンドンで
資産運用セクターに
従事する人数

37%

欧州の全運用資産
に対する
英国の管理の割合

75%以上

英国の運用株式のうち、
外国株式の割合

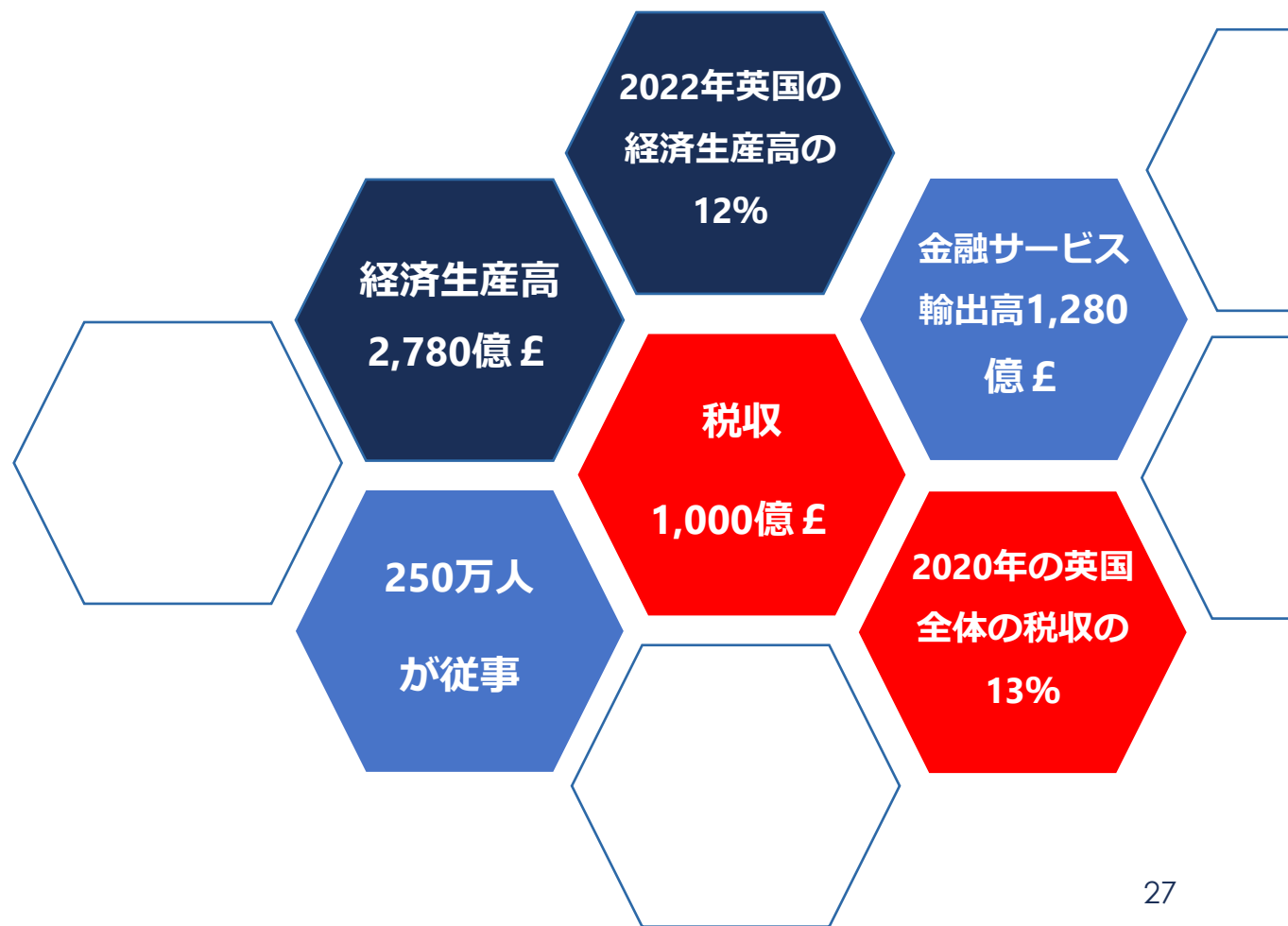
80%近く

英国で運用されている資
産のうちESGスチュワー
ドシップ活動の対象と
なっている割合

7億 £

スコットランドで
運用されている資産

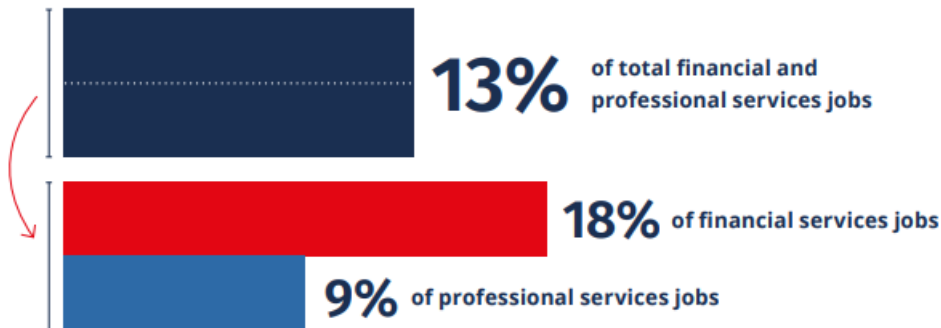
英国経済を支える金融・専門サービスセクター



英国経済に対するシティの貢献度合は高い

シティは英国全体の面積の0.001%しかないのに、
英国内のFPSのうち**13%**がシティにある
年間850億 £ の経済生産（英国GVAの4%）
ビジネスレートも**11億 £**（英国全体の5%）

In Great Britain (GB), the City accounts for...



2023.11.2 CoLC 「City statistics briefing」 より

The City is a key driver of the economy, generating over

£85bn

in economic output annually, or 4% of all UK GVA. Yet, the City only accounts for 0.001% of the UK's size.



The City contributes to the rest of the economy, generating

£1.1bn

in business rates. This represents 5% of England's total business rates collection.

Vision for Economic Growth a roadmap to prosperity

- ・ 2023年9月、英国の繁栄と雇用促進に向け、英国の金融・専門サービスが2,250億£の経済成長をもたらすためのロードマップ発表
- ・ 金融・専門サービスの300以上の関係者からの意見をまとめたもの

～重要な5つの目標～

- ① 金融・専門サービスが最大の力を発揮できるような成長条件のサポート
- ② 投資レベルの引き上げ
- ③ デジタルファースト経済へ
- ④ サステナブルファイナンスのリーダーとして定着
- ⑤ ワールドクラスのプロモーションとの相互接続性

(おまけ) 金融・専門サービスへのAI活用



英国はデジタルファースト経済



英国の2022年の設備投資額30億ドル
3000ものAI企業があり5万人の雇用を支える



AIを最も採用しているのは

①法律サービス ②IT通信 ③金融サービス

→つまり、金融・専門サービスはAI投資とAI利用の
最前線（HSBC銀行が犯罪摘発件数を2-4倍に増加
させるためにAIを利用など）



シティ・コーポレーションの中で、金融関連部署は「**Innovation & Growth**」

CoLCのオファー：シティのエコシステムへのアクセス/英国の規制や税制への対応など企業設立・進出のサポート/イベント・セミナー/政府へのアクセス/貿易協定・市場アクセスの洞察・分析など

シティ・コーポレーションの金融関連部署

タウンクラーク（第51代目）



Innovation & Growth

Destination
City

Climate
Action

FPS

Destination
City

Climate
Action

- 1 Strategic engagement and operations
: Director office
- 2 **Trade & Investment**
- 3 Policy and Innovation
- 4 Research and intelligence
- 5 Destination City
- 6 Climate Action Strategy
- (7 Heart of the City)

Trade & Investment Team

世界をリードする英国の金融・専門サービスを グローバルにプロモート・サポートする組織

UK Regions
and Nations
team

英国と世界中の金融市場の橋渡しをして、
双方向の貿易と投資を促進

- ・これに関するシティ・コーポレーションの
戦略プランを構築
- ・各国の市場ごとにキャンペーンやプランを構築
- ・ロードメイヤーを始めとする高官の海外訪問の計画
- ・世界経済フォーラムや世界中の大きなイベントとの連携
- ・英国政府や関連業界団体との連携 など

Advanced
Market
team

High
Growth
Market
team

Global Investment Futures

2022年に立ち上げた、英国の資産運用業界＋グローバルな投資運用センターとしての地位をさらに高めることを目的としたプロモーションキャンペーン

英国資産運用会社のグローバルな活動を後押し・業界の専門知識をプロモートし、英国からの運用or英国を通して運用するファンドへの海外マネーの呼び込みを目指す

たとえば、アセットマネジメントを見ると

世界第2位

投資管理センター
としての地位は米国の次

およそ1,100

英国の資産運用会社数は
ヨーロッパ最大

11.6兆 £

英国での運用資産額は
世界全体の運用資産の
14%を占める

46%

英国の運用資産額のうち
海外の顧客に代わって
管理している割合

33,400人

ロンドンで
資産運用セクターに
従事する人数

37%

欧州の全運用資産
に対する
英国の管理の割合

75%以上

英国の運用株式のうち、
外国株式の割合

80%近く

英国で運用されている資
産のうちESGスチュワー
ドシップ活動の対象と
なっている割合

7億 £

スコットランドで
運用されている資産

Global Investment Futures (GIF)ってどんなもの？

- ・シティ・コーポレーション、英国政府のビジネス・通商部、The Investment Association（投資運用業界団体）が共同して立ち上げ（初の試み）
- ・2030年までに**英国の運用資産額を倍増**したい

～目標～

- ①英国の資産運用会社が海外顧客からの新たなマンデートを獲得
- ②新規海外投資家を獲得し、英国オフィスを開設してもらう
- ③既存の企業の英国オフィスで海外投資家をサポートし、運用資産額を拡大する
- ④2030年までに運用資産額を倍増するという目標達成のため、英国政府とエコシステム内の企業と連携する

5つの優先的に扱う市場（US・**日本**・オーストラリア・中国・アラブ湾岸諸国）

資産運用会社が海外に拡大する際のニーズ

グローバルマーケット
に対応できる人材

ESG

プライベートアセット
やオルタナティブア
セットへの投資機会

ビジネス環境
規制環境

情報へのアクセス
ネットワークの
構築しやすさ

言語・文化
住環境

ビジネスコスト



英国はこれらのニーズを満たせちゃう！

Why the UK?

UKは金融・専門サービス業にとって Global gateway

1

ビジネスに最適な場所

2

グローバルマーケットと人材に
つながるのに最適な場所

3

持続可能な未来への投資に最適な場所

1

英国はビジネスをするのに最適な場所

世界第2位の
投資管理センター

英国の
資産運用会社の
卓越した専門性

革新的な
投資商品の幅広さ

確立された
金融サービスの
エコシステム

2

英国はグローバルマーケットと人材に つながるのに最適な場所

国際的かつ
ヨーロッパNo.1の
投資管理センター

タイムゾーン

グローバルに
つながる
金融サービスの
エコシステム

人材の宝庫

3

持続可能な未来への投資に最適な場所

グリーン
ファイナンスの
リーダー

支える学術機関
と研究

透明性・信頼性

持続可能な未来
に取り組む政府
の存在

シティ・コーポレーションのサポート

市場機会へのアクセスと専門家の紹介

英国内のグローバルなイベントや資産運用エコシステムと交流し、つながる機会の提供

ローカルな英国組織の紹介、アセットオーナー/マネージャーとつながるオーダーメイドのプログラム提供

英国での企業設立やベストな市場選択のアドバイス

英国の規制や税制に対応できるようにサポート

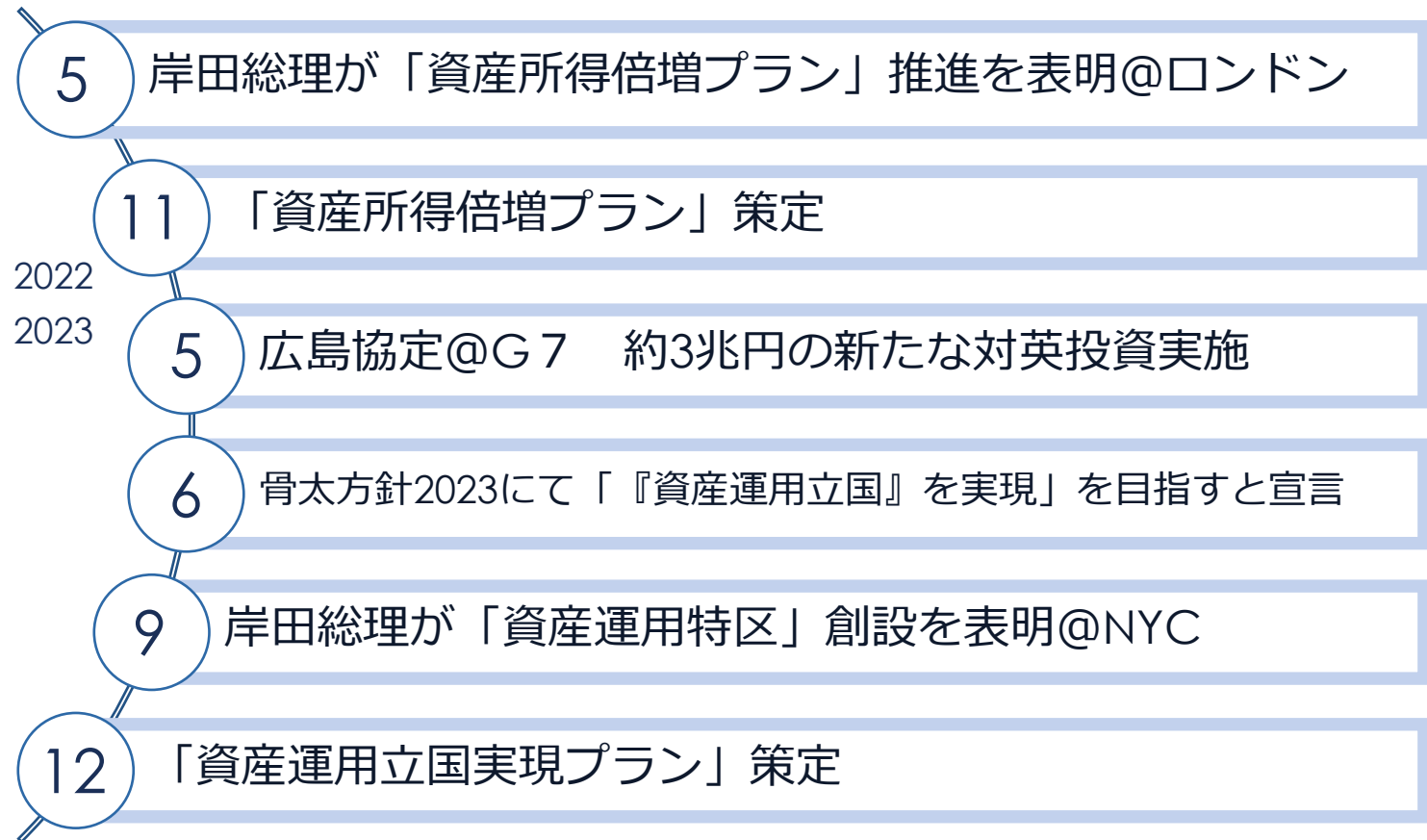
Investment Associationの会員になる機会提供



Global Investment Futures /Japan

優先度の高いマーケットである日本に対しての
アプローチ

英国も注目する日本の動き



英国資産運用会社が日本市場へ進出した例



BlueBay Asset Management Ltd

英国の専門知識で債券商品の提供を充実



Orbis Investments

英国の投資アプローチと英国のノウハウ
を日本の投資家へ提供

キャンペーン推進のために

ロードメイヤー
が毎年1回訪日

日本政府や関係金融機関と関係強化

日系資産運用・金融関連
イベントへの出席・広報

ロンドンの日系金融
機関、日本政府
との関係構築・強化

シティコーポレーションの上級幹部の
日系金融機関との接触

こんなこと
やってる

英国政府、駐日英国
大使館、業界団体、
東京都 etc.との連携

グローバル
インベストメント
サミット^{主催}

東京都、駐日英国大使館、
日本政府との定期的な
ラウンドテーブル
(今年のテーマは
「東京市場への進出
の課題」)

英国資産運用業者
の日本市場や経営
環境の理解促進・
障壁の軽減
につなげる支援

英国資産運用会社の
日本参入後押し
英国資産運用会社の
東京訪問アレンジ

年に2度
東京都との共催
金融イベント実施

The 8th Tokyo London Financial Seminar 2024

2024年1月31日ロンドンで開催、英国金融関係者100名程度が出席



1

City of London ≠ ロンドン市

2

City of Londonを支える自治体が「**City of London Corporation**」

3

金融・専門サービスセクターの国際大使たる市長
ロードメイヤー

4

英国・シティの金融・専門サービスセクターは世界を
超リード& **国際金融センターランキングNo.1**

5

英国・シティはビジネスに最適な理由しかない！
ぜひ投資・進出を！

英国政府や業界団体等と連携、各国投資家や各国政府にも働きかける

City of London Corporationの
英国の金融・専門サービスセクタープロモーション



Thank you